

大和市子ども読書活動推進会議 会議記録 (要点筆記)

会議名	令和3年度 第1回 大和市子ども読書活動推進会議	
開催日時	令和3年7月20日(火) 15:45～17:15	
開催場所	大和市文化創造拠点シリウス6階 610大会議室	
出席状況	出席委員	<p><推進会議委員></p> <p>伊禮 利奈 渡辺 康子 吉野 敦子 山口 真由子 今宮 智子 長嶋 智美 古木 幸一 矢嶋 千草 大川 伸子</p> <p>(順不同・敬称略)</p>
	欠席委員	なし
	市側出席者	<事務局職員>(4名)
	図書館出席者	なし
	傍聴人人数	0名
公開非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開	
審議又は検討経過及び結果	<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の出席状況の確認(9名全員出席) ・配布資料確認 ・事務局より開会あいさつ <p>2. 委員自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各委員自己紹介 ・事務局職員自己紹介 <p>3. 会長及び副会長の選出</p> <p>(事) 会長及び副会長は互選で選出することになっているが、前回からほとんどのメンバーが入れ替わっている状況なので、第5期に副会長を務め、今期も引き続いて参加している今宮委員に会長を依頼することを事務局として提案したい。</p> <p>→了承</p> <p>今宮委員を会長に決定</p> <p>(事) 続いて、副会長の選考に入る。</p> <p>立候補や推薦等がなければ、今宮会長に推薦を依頼してよいか。</p> <p>→了承</p> <p>(会) 地域文庫の運営に関わり、地域での広い活動実績がある伊禮委員を推薦する。</p> <p>(事) 副会長に伊禮委員を選出してよいか。</p> <p>→了承</p> <p>伊禮委員を副会長に決定</p>	

4. 議事

(1) 第6期大和市子ども読書活動推進会議について

◎事務局より、資料2を基に、大和市子ども読書活動推進会議について説明。
質問意見なし

(2) 第4次子ども読書活動推進計画の策定について(資料3)

◎事務局より、資料3を基に、第4次子ども読書活動推進計画の策定について説明。
質問意見なし

(3) こども読書わくわくプラン実施計画進捗点検について(資料4)

◎事務局より、資料4を基に、こども読書わくわくプラン実施計画進捗点検について説明。
質問意見なし

(4) その他

◎事務局より、次回会議は9月下旬の予定であることを説明。

(会)現在のコロナ禍の状況下で、子どもの読書活動を良い方向に推進するためには、それぞれの立場の情報を知ることが必要だと考える。

本日は各現場に詳しい教員が参加しているので、現在のコロナ禍における、幼稚園、保育園、学校の読書を取り巻く子どもたちの環境について、教えてほしい。

(委)

- ・幼稚園の3歳児をみると、マスクを着け続けること自体が難しい様子だが、それが普通の生活になりつつある。
- ・幼稚園が預かる3歳から5歳までの子どもたちはワクチンが打てず、打つという話がでるかもわからない。どちらにせよ、今すぐという話にはなりそうにない。長期的な視点で考えなければいけない。
- ・子どもたちになるべくたくさん絵本を読んであげることが変わらないが、みんなで集まって読んであげる機会は減っている。

(委)

- ・保育園で読んだ本を貸し出し、家でも読むことで、保護者と子どもの興味を共有できるメリットがあったが、コロナの影響でストップしてしまっている。貸し出しを継続している園は、消毒に苦勞をしながら貸し出しを継続している現状がある。
- ・クラスが合同になって一つの話を楽しむことは難しいが、マスクをつけ

るわけにいかない状況では、アテレコで音声を入れる等の工夫をして実施している。

- ・言葉が増える時期の子どもには、感染防止対策ができる状況では、口の動きを見せるようにしている。

(委)

- ・学校によって対応に差はあるが、学校図書館の利用について、この休み時間は特定のクラスしか使えないという制限をかけていたり、手洗い、マスクを徹底した上で、通常通り開館したりしている。
- ・学校図書館の来館数を減らせるように、一度に貸し出せる冊数を増やしたり、貸出期間を長くしたりする等の対応をしている。
- ・貸し出して家庭に持ち帰られた本は表紙だけ消毒した上で、一週間経過してから貸し出している。
- ・調べ学習は本を借りて教室で実施し、消毒して次のクラスで実施している。
- ・学校図書館の座席数も減らして、その場で読まないようにしている。
- ・昨年は実施しなかった、図書委員やボランティアの読み聞かせも再開しているが、従来とは異なり、自席から聞くという形にしている。
- ・昨年度はシールドの中にいた子どもたちも、シールドを外すと落ち着かない様子だが、絵本を読み始めると、静かに聞いてくれる。
- ・マスクのせいで表情も読み取りにくいですが、そのような状況でも、絵を見て聞こうとする姿勢が見える。本の重要性を改めて感じている。
- ・明日から小学校は夏休みだが、喜んで本を借りて帰っていく様子がある。夏休みの楽しみの中に家族と本を読むことが含まれていることはとても良いことと考えるので継続していきたい。
- ・毎月23日の大和市の家読の日はまだ浸透していないように思う。いずれは大和市の家読の日だから今日は家族と本を読もうというようにアピールしていきたい。

5. 閉会

以上

注（ 委：委員 会：会長 事：事務局 ）